

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立坂戸小学校
校長 押田 春美

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
4月10日（水）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標

学校教育目標

○明るく健康な子 ○やさしく思いやりのある子 ○よく考え、行動する子 ○最後までやりとげる子

学校経営方針の重点（一人ひとりの子どもを大切にするために）

【学校生活の充実】

- ・「わかる」「できる」「楽しい」を実感できる授業づくり
- ・GIGA 端末を活用しながら学びを深める情報教育の推進

【安全・安心】

- ・危機管理体制の充実

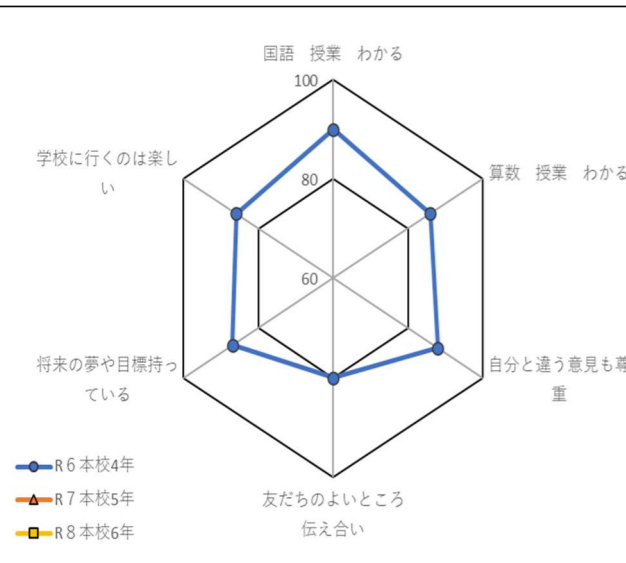
【人権尊重教育】

- ・児童理解、児童支援の推進
- ・キャリア教育の推進

【地域とある学校】

- ・学校からの情報の発信や地域との連携の強化

令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



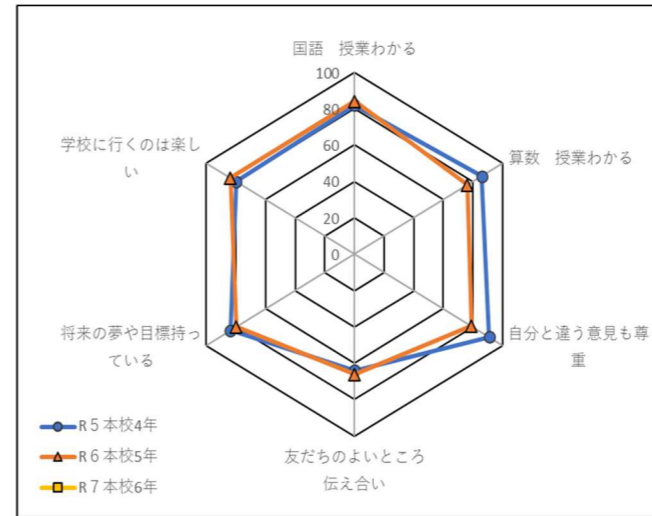
	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R 6 本校4年	59	57
R 6 全体4年	60	58

・「国語の授業がわかる」は90ポイントで、授業の内容はよく理解していると捉えています。「国語書くこと」は37ポイントでした。国語以外の学習でも自分の考えを書く時間を大切にし、表現力の向上を目指していきます。

・「算数の授業がわかる」は85ポイントで、授業の内容は理解していると捉えています。「算数 思考・判断・表現」は57ポイントでした。この結果から、児童が自信をもって表現することができるようにすることが大切だと考えられます。そのために、基礎的な問題に繰り返し取り組み、知識や技能を定着させ、自信をもって子ども同士で伝えあう活動を取り入れます。次年度は、全体を超えることを目指します。

・「友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている」は80ポイントで、授業や行事などで子ども同士が関わり、伝え合ってきた成果だと捉えています。今後も、共生*共育などを通して、子どもたちが互いに尊重し合う活動を重視していきたいと考えています。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生



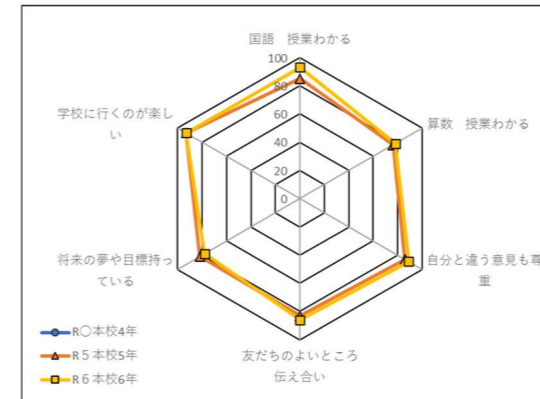
	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R 6 本校5年	56	35
R 6 全体 5 年	56	38

・「国語 授業がわかる」は、昨年度よりポイントが上回りましたが、「書くこと」においては34ポイントという結果になりました。様々な学習場面で自分の考えを書くことを大切にし、想像する力や表現する力を育てていきます。

・「算数 授業がわかる」は、昨年度より下回っています。学習内容が難しくなり、理解に時間を要することが多くなってきました。既習事項と結び付けて課題解決に向かったり自分の考えを表現したりすることを継続するとともに、子ども達同士の学び合いを通して、考えのよさや便利さに気付くような学習展開を図っていきます。

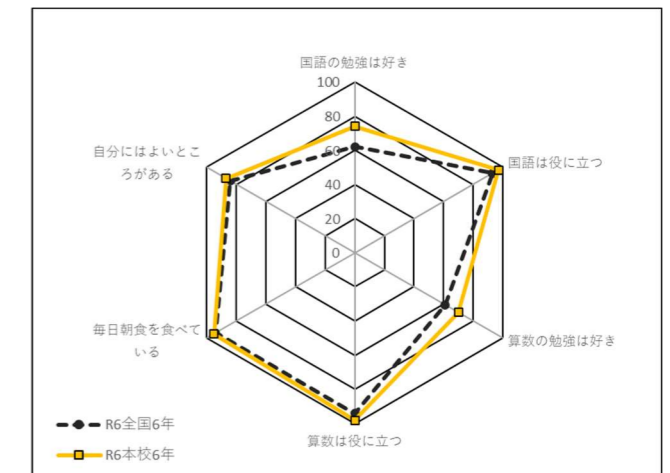
・「自分と違う意見も尊重」は、ポイントが下回りました。成長とともに自分を俯瞰してみることができるようになってきた児童が増えたことも要因の一つかと考えています。相手の思いに寄り添い、思いやりの心を育成できるように努めていきます。「学校に行くのは楽しい」は、昨年度よりポイントが上回りました。皆で活動する楽しさや、創り上げる喜びを味わいながら学校生活が送れるよう、引き続き指導していきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生



	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R 6 本校6年	66	29
R 6 全体 6 年	63	31

全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語 授業がわかる」は、昨年度よりポイントが上回りました。昨年度から、グループでの話し合いや発表活動を様々な場面で取り入れ、相手意識をもって話したり聞いたりする活動が増えたことで授業の理解度が上がったと考えています。全国調査「国語は役に立つ」は、全国平均を上回りました。学習した内容を、委員会活動や他学年との交流の場面で活かすことができた結果だと捉えています。

・「算数 思考・判断・表現」は、昨年度と同程度になっています。既習をいかして答えを導いたり、考えを友達に伝えることで理解を深めたりする活動を継続するとともに、生活と結び付けて必要感をもちながら学習に取り組めるようにします。また、5年生までの学習も含めて学習の定着を図ります。全国調査「算数の勉強は好き」は、全国平均を上回りました。見通しをもって学習に取り組んだり、授業での学習のしかたを理解したりする児童が増えた結果だと捉えています。

・「将来の夢や目標 持っている」は、昨年度より下回っています。経験を積み重ねたことで、現実的に物事を考えた児童が増えた結果だと捉えています。全国調査「自分にはよいところがある」は、全国平均を上回りました。道徳や総合学習の時間で、自己を見つめなおす内容の学習をしたり、前向きな発言を認めたりすることを繰り返した結果、自分のよいところを見つけることができる児童が増えたと考えています。